

生徒が社会情勢に興味関心を持つための新聞活用のあり方②

伊那市立長谷中学校 飯野雄一郎

1 実践

(1) 平成18年度の活動

①図書館の新聞コーナー

昨年に引き続き、図書館の一角に新聞閲覧コーナーを設けた。

生徒会文化委員会が管理する閲覧コーナー(二社の新聞)とNIE実践期間中に設けたNIEの新聞閲覧コーナー(多いときで五社の新聞)の二カ所がある。NIEの新聞閲覧コーナーは各学年の社会科係が新聞を図書館に運び、穴を開けて各社それぞれ古い順に綴じ、閲覧できるようにしておいた。授業などで必要な場合は教室へ持って行って読んだり、生徒の希望があればコピーできるようにした。休み時間などに何人かの生徒が新聞を読む姿が見られた。



②社会科の授業での活用

- a. 少しでも社会情勢に興味関心を持てるように、生徒が新聞から気になる記事を取り上げ、分かったことや疑問、感想をまとめた場面(3年公民 「新聞記事を読もう」特設单元)

〈進め方の概要〉

- ①4社の新聞(H18.9~10月の朝日、読売、毎日、信濃毎日)を読み、その中から気になる記事を取り上げ、分かったことや感想、疑問点についてカードに書かせ、発表する。

〈教師の支援など〉

- ①3年生の実態をふまえ、特にジャンルにこだわらず、気になる記事を決めさせる。
②難しい言葉もあるので、手がかりとして、見出しに注目させたり、分かる範囲の内容をまとめさせる。
③わかったことについては、記事の文を引用することも可とする。感想、疑問についてはできるだけ、自分の言葉で書かせる。

《生徒の姿》

- (1) 全体で共通に扱った記事→平成18年11月18日(土)読売新聞 裁判員制度の記事から見出し「裁判員候補年37万人 選任手続き 08年12月から 3段階で絞り込み」(1面)
「裁判員どうやって確保? 選任方法公表 辞退許可理由 線引き困難」(社会面38面)

[illegible]

授業の内容に関わって、共通で扱いたい記事や各自で気に入った記事を読み、考えをまとめさせた。

思考判断の面から見れば、もう少し掘り下げて考えてほしい生徒もいるが、自分なりにその記事と向き合い、考えをまとめている生徒が多い。また、社会情勢に興味関心を持たせるために、その日の新聞記事の一面やトップニュースを授業の最初で口頭で紹介したり、教師側で記事を選び、ポイントと思われる箇所にアンダーラインを引き、印刷したものを配布して、授業で生徒が考えるための資料とした。多くの生徒は問いかけに反応していた。事例は3年生であるが、1・2年生の中にも反応する生徒は多く、新聞記事を取り上げることは有効であると考ええる。新聞記事には政治や経済が中心であるので3年生の場面で扱うことが多かったが、今後、地理や歴史に関する新聞記事もできるだけ取り上げていく必要がある。

b. 3年生の公民の単元で新聞記事を調査学習の資料として利用をした事例

学習指導案

- 1 単元名 大単元「現代の民主政治と社会」 《三年 公民》
中単元 「現代の民主政治」

2 単元設定の理由

公民分野において3年生は、「現代社会と私たちの生活」の単元で、戦後から現代までの流れをとらえた後、個人の追究したいテーマをきめてレポートを作成した。インターネットや文献資料を使い、意欲的にまとめることができた。「人間の尊重と日本国憲法」の単元では、日本国憲法の三大原則や基本的人権の尊重について、その概要をとらえたり、事例をもとに自分の考えをまとめ、発表をしたりしてきた。

「現代の民主政治と社会」の単元は、民主主義の理念をとらえ、選挙制度や国政、地方自治について学ぶ単元である。今年度は自民党総裁選や新しい内閣総理大臣が決まる節目の年である。すでに新聞記事やテレビなどでも連日大きく取り上げられており、生徒の中には関心を持って、このニュースに注目している生徒も多い。しかし、自民党総裁と内閣総理大臣が混同している生徒や総裁や総理大臣決定までの過程をつかめていない生徒も多いのが現実である。例年、この単元では、教科書や資料集でその仕組みを学習しているが、タイムリーな話題であることから、この単元内に特別に単元を設定して、総裁選挙から総理大臣決定までの流れや具体的な候補者名を通して、この仕組みをとらえさせたいと願っている。主にはテーマを決めて班ごとに新聞記事を使って調査・発表をしたり、具体的な資料を提示したりすることで、生徒の社会的事象に対する見方や考え方を深め、より身近な社会に対する関心も深められるだろうと考えてこの単元を設定した。

3 単元の評価基準

A【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ①身近な生活との関わりに興味をもち、身の回りの社会事象から現代政治の課題を発見し、意欲的に追究しようとしている。

B【社会的な思考・判断】

- ③政党の意義や仕組み、総理大臣決定までの流れについて、その特色や背景を多面的・多角的に考察している。
- ④選挙をはじめとする国民の積極的な政治参加が民主政治を支えていることに気づくとともに

に、公正な選挙の重要性について多面的・多角的に考察している。

C【資料活用の技能・表現】

- ①新聞記事など国や地方公共団体の政治のしくみに関する資料を収集し、課題学習に活用している。
- ②図版を活用しながら、人々が政治にどのような願いや要求を持っているかをつかもうとしている。

D【社会的事象についての知識・理解】

- ①日本の政治は政党政治であり、国会においては第一党の党首が国会内の指名選挙を経て内閣総理大臣に指名され、総理大臣を中心に内閣を組閣する事について理解している。
- ②政治は、法に基づいて社会生活上の対立や争いを調整・解消し、国民生活の向上を目指して行われることを理解している。
- ③政党や世論の役割、多数決の原理と運用のあり方について理解し、その知識を身につけている。

4 単元展開（6時間扱い）

◇学習内容	学習目標	指導上の留意点	時	評価
「民主主義とは」 ・政治って何だろう ・民主主義とは？ 多数決の原理 直接民主制と間接民主制	民主主義の意義を理解すると共に、民主主義の基盤には個人の尊重があることに気がつく。	民主主義は人々の政治参加で成り立っている事に気づかせる。多数決の原理についてふれる。	1	A① B① D② D③
「選挙のしくみ」 ・選挙制度 小選挙区比例代表制 ・選挙の課題 投票率の低下 一票の格差	選挙制度のあらましや、選挙が国民が政治に参加する主要な方法であることを知る。 投票率の推移などの資料から選挙の課題について考える。	国民の選挙への関心を高めることが必要であることを気づかせる。	2	B② C②
「政党と政治」 ・日本の主な政党と考え方 ・無党派層	政党の考え方、活動内容から、政権獲得のために活動している様子を知る。	無党派層にふれ、政党のあり方が問われていることを示す。	3	A① B① D③
「自民党総裁選から総理大臣決定・内閣組閣、安倍内閣の考え方について調べて、まとめてみよう」 (1) 自民党総裁選から内閣総理大臣決定までの順序のしくみ (2) 組閣の仕方 (3) 安倍内閣の方針（国内） (4) 安倍内閣の方針（国外）	4つのグループに分かれ、各グループのテーマに沿った新聞記事を読み、内容をまとめる。	新聞記事の中には難解な語句や内容をともなうものがあるので、分かる範囲でまとめさせる。記事の見出しや、図表を活用させる。 ・どこの記事か出典先を明記させる。	4 ・ 5	C① D①
◇各グループの調査結果を発表し合おう		※本時案参照	6	A① B① D①

5 本時案

(1) 本時の主眼

自民党総裁選挙や安倍内閣誕生の過程や考え方について、新聞記事をもとに調査やまとめをしてきた生徒が、調査結果を発表しあう場面で、各班の発表からわかったことや疑問点を整理したり、疑問点を出し合い話し合う活動を通して、政党（与党）や内閣のしくみや考え方について、理解を深めることができる。

(2) 本時の評価規準

B：各グループの発表を聞き、発表内容を簡潔にまとめている。また、これまでの学習の成果を踏まえ、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。

A：発表を熱心に聞き、自分たちが調べたことと比較しながら、発表内容や疑問点を簡潔に記録し、政党や内閣について、さまざまな角度から、具体的・現実的な提案をすることができる。

C（手だて）：教科書などを使い、既習事項を想起させながら、「ここは」という箇所を学習カードに記録するよう助言をする。

(3) 本時の位置（全6時間中の第6時）

前時：グループで調べ学習をし、まとめる。

次時：国会のしくみについて、知る

(4) 指導上の留意点

- ・発表は端的にわかりやすくさせる。

(5) 本時案

	学習活動	予想される生徒の反応	支援・評価（◆）	時	資料
導入	1 学習内容を 確認する	・調査してまとめたものを発表して、わかったことや疑問点をまとめるんだ。 『自民党総裁選や安倍内閣についての発表を聞いて、分かったことや疑問点をまとめ、話し合いをしよう』	・この時間の学習の流れについて説明をする。	1	学習カード
展開	2 グループ別の発表をする。 ①各グループの発表を聞き、分かったことや疑問点をまとめる。 ②疑問点を出	◇テーマ別グループ （1） <u>自民党総裁選挙から内閣総理大臣になるまでの流れ</u> ・自民党総裁の候補者から総裁決定 ・内閣総理大臣決定までの流れ （2） <u>安倍内閣のメンバー</u> ・大臣をどのように決めるのか ・内閣の顔ぶれ （3） <u>安倍内閣の方針（国内）</u> （4） <u>安倍内閣の方針（国外）</u> ○自民党の党員は、国会議員だけではないんだ。 ○麻生さんや谷垣さんは、どうして安倍さんに	・発表は以下のように行う。 ①各班の発表 （分かったことを含めて） ②質疑応答 ・学習カードへの記入は各班の内容や印象に残ったことなどを端的にメモさせる。 ・質疑に対する応答はまず、発表者に答えさせ、その後、全体に広げていく。 ・生徒が答えられなかった質問について、補足説明をする。		各班の資料 学習カード

	し、全体で話し合う。	負けてしまったのだろう。 ○内閣総理大臣の指名選挙では、他の党の党首も立候補している。 ○安倍内閣が力を入れようとしていることの一つは、教育改革（教育基本法の改正）だ。 ○北朝鮮に対する考え方は？	・全班発表後、各班の資料や話し合われた内容をふまえ、学習ノートに書き加える。		
まとめ	5 学習カードに感想・疑問などをまとめ、発表し合う。	・調査をしたり、まとめをしている段階で、多くのことが分かってきた。 ・自民党総裁選は3人の候補で争ったんだ。自民党の総裁になれば与党の第一党なので、支持を得られて、内閣総理大臣に指名されるんだ。 ・大統領選挙は国民の投票で行われる。制度的に難しいのかもしれないが、国会議員の投票で、一国のリーダーが決められていることはいいのか。 ・政党が大きければ、国会や内閣で自分たちの考え方を貫ける。日本は政党政治なんだ。	・今後の学習につながるような感想や疑問点を取り上げ発表させる。 ◆自民党総裁選や安倍内閣についての発表を聞き、自分なりの考えをまとめることができたか。 (学習カード・発言)	5	学習カード

(6) 生徒の姿

※当初、11月に予定した授業は諸事情で2月に実施しました。9月・10月の新聞記事で調査をしています、2月の時点の国政をふまえて、まとめをしてる生徒もいます。

「自民党総裁選挙から内閣総理大臣指名まで」について

○生徒が取り上げた記事から（抜粋）

自民党総裁選告示 安倍・谷垣・麻生氏届け出

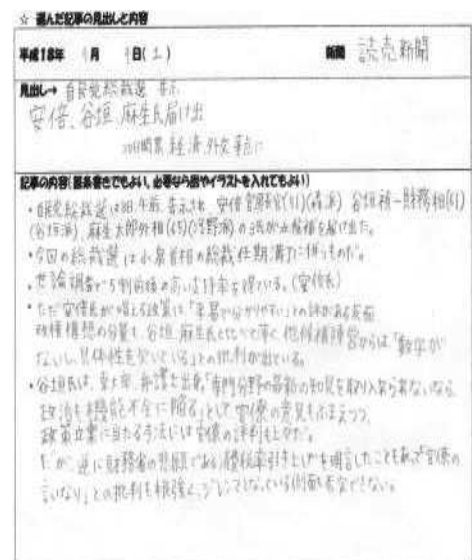
(H18. 9. 9 読売新聞)

自民新総裁に安倍氏 (H18. 9. 21 読売新聞)

- ・自民党総裁選は20日午後、党員票の開票と党所属国会議員の投開票が行われ、安倍晋三官房長官(52)が第1回投票で全体の66%の票を獲得し、麻生氏、谷垣氏に圧勝。臨時国会が召集される26日の衆参両院本会議で、第90代、57人目の内閣総理大臣に指名され、同日中に新内閣が発足される見通し。

自民幹事長に中川秀氏 (H18. 9. 26 読売新聞)

- ・安倍さんは戦後最年少の首相となる。



N. Aさんの学習カード

安倍内閣発足（H18. 9. 27 信濃毎日新聞）
 ・衆参両院で26日午後行われた首相指名選挙
 はの結果は次のとおり

	衆院	参院
安倍晋三（自民党総裁）	339	136
小沢一郎（民主党代表）	115	85
志位和夫（共産党委員長）	9	9
福島瑞穂（社民党党首）	7	6
綿貫民輔（国民新党代表）	5	4
無効	1	
投票総数	476	240

○学習カードから・・・わかったことや感想・疑問点

- ・自民党総裁の意味が分かった。総理大臣に指名されるまでの順序も分かった。なかなか大変だ。（K. M）
- ・最大政党のトップが事実上総理に決まるのに、臨時国会で決めるのは、手間がかかると思った。（N. A）
- ・自民党総裁選の3人の候補者にはそれぞれ、得意分野、不得意分野がある。世論調査では安倍さんが5割前後で有利。3人の考え方が分かった。（N. A）
- ・新聞をまとめるのはなかなか大変。がんばってまとめた。新聞に興味を持てた。（S. R）

○考察

このテーマをまとめていたグループの生徒たちは、授業で政党のしくみを学習し、内閣総理大臣が国会の指名選挙で決まることを知ってはいたが、事実上、最大政党のトップが、内閣総理大臣の指名選挙で選ばれるというつながりが意識できていないようであった。新聞を読んで記事の内容をまとめたり、教師の解説を聞いたりする中で、自民党総裁選で3人の候補から安倍さんが総裁に選出され、その後の臨時国会で、各党の党首が候補に立ち、指名選挙において自民党総裁の安倍さんが内閣総理大臣になった経緯を確認することができた。生徒からは「そういうことなんだ」といった感想が聞かれるなど、教科書の内容と実際の政治の様子を関連付けることができた姿が見られた。

「安倍内閣誕生（閣僚の顔ぶれ）」について

○生徒が取り上げた記事から（抜粋）

安倍内閣が発足（H18. 9. 27 読売、信濃毎日新聞）

- ・（安倍内閣閣僚の顔ぶれ（政党・派・民間の人数）を一覧でまとめる。）
- ・国家公安委員会委員長は参議院から、経済財政大臣は民間から、後は衆議院。
- ・安倍自民党総裁は9月26日の記者会見で構造改革路線を加速・推進していくことを決めた。
- ・首相指名選挙→総理安倍晋三→組閣人事を行い内閣発足
- ・安倍首相には首相補佐官がいて、それぞれ役目がある。
- ・ベテラン組柳沢氏などの安倍氏を支持したメンバーを中心とした。

★ 個人が記事の見出しと内容

平成18年 9月 27日(木)	信濃毎日新聞
見出し→ 安倍新内閣が発足	
記事の内容(書き写してもいいし、大事な部分やイラストを入れてもいい)	
総理 安倍晋三	環境 若林正俊
総務 菅義偉	国土 菅義久
法務 長勢基道	労働 岸田正樹
外務 麻生太郎	防衛 久間章生
財務 野田聖一	福祉 高市早苗
文科 伊藤文明	経済 大田弘子
厚生 柳沢伯夫	建設 柳沢伯夫
農林 柳沢伯夫	国土 柳沢伯夫
経済 甘利明	国土 柳沢伯夫
国土 柳沢伯夫	国土 柳沢伯夫

○学習カードから・・・わかったことや感想・疑問点

- ・内閣の顔ぶれとどこから（衆・参・民）選ばれたか分かった。（N. Y）
- ・内閣には意外にたくさんの役があっただろう。ニュースで誰が何々と言っているけれど、それが分かって良かった。柳沢さんや佐田さんの問題が出ていたけれど、そのことが確認できた。新聞から何かを調べるというのはなかなか難しい。各大臣の他に首相補佐官がいるけれど、それが本当に必要かどうか分からない。（N. I）
- ・自民党の中にも派閥があることを知った。国会議員以外で民間の人も選ばれている。どんな関係があったのか、柳沢さんの問題発言で内閣の支持率が落ちていると聞く。安倍さんも信頼が薄くなって大変だ。（I. H）

○考察

現在の総理大臣の名前くらいは、中学生も知っていてほしいと思うが、どんな省庁があって、その国務大臣は誰かといったことについてはよく知らないという生徒がほとんどである。今回、このテーマについてまとめたグループは、新聞記事を元に安倍内閣の閣僚名簿をまとめた。その中で、半数以上が国会議員であることや、自民党からの起用が多い中で、同じ与党の公明党や民間からも入閣している点、自民党の派閥も関係していることなどを確認することができた。また、記事や見出しから、安倍さんの考え方に協力できる人を大臣に据えたことを指摘した生徒や防衛庁が省に格上げされたことや大臣が替わったことを指摘する生徒も見られた。

「安倍内閣の方針（国内）」について

○生徒が取り上げた記事から（抜粋）

集団自衛権を研究 安倍首相所信表明 改憲にも意欲（H18. 9. 30 朝日新聞）

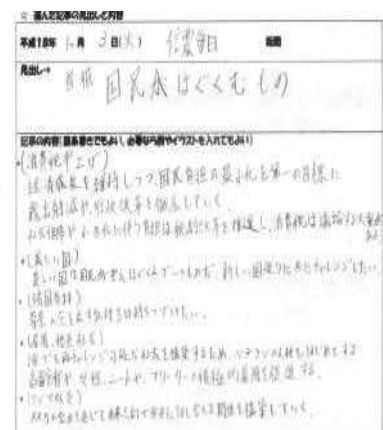
- ・「目指す国家像として掲げてきた「美しい国、日本」の意味について」
 - ①文化・伝統・自然・歴史を大切に作る国 ②自由な社会を基本とし、規律を知る、凛とした国 ③未来へ向かって成長するエネルギーを持ち続ける国 ④世界に信頼され、尊敬され、愛されるリーダーシップのある国の4点を挙げた。
- ・政権の重要課題として、「教育再生」については、教育の目的を「志ある国民を育て、品格のある国家・社会をつくることだ」と宣言。

首相国民がはぐくむもの（H18. 10. 3 信濃毎日新聞）

- ・美しい国、日本
- ・消費税率上げについて
- ・雇用、格差社会 他

○学習カードから・・・わかったことや感想・疑問点

- ・美しい国づくり、雇用、格差社会の問題、消費税率上げなどいろいろなことを行おうとしている。多くの問題を解決していくという方針で対策を考えている。これから、国が目指そうとしている事がたくさん知ることができた。首相の考えていることが何となくだがかかってきた。（K. M）



K. M君の学習カード

- ・「美しい日本」の4つの意味を知った。また、④みたいな世界的なレベルで考えているものがあり、びっくりした。本当にその方針通りに日本は変わっていくのだろうか。教育再生が重要課題になっていることが分かった。(I, M)
- ・以前から「美しい国、日本」というフレーズは聞いたことがあったけど、具体的にどういう意味なのか分かった。でも実際にそれを成し遂げるのは難しいと思う。最近、安倍内閣の支持率も下がってきていることから大変だと思う。(N, K)
- ・いじめや未履修の問題がここのところ出てきて、教育基本法の改正にも関連していることがわかった。何故、未履修の問題が起きてしまったのか、そこから追求した方がいいと思った。(H, J)

○考察

「国内」というテーマは、内容が多岐にわたってしまったため、もう少し、焦点化するべきであったと思われる。このテーマでまとめたグループは、内閣発足当時の首相の所信表明の記事から、安倍内閣が力を入れようとしていることの概要をおさえたり、教育基本法の改正や未履修の問題を中心に、まとめようとしていた。内容も難しく多岐にわたってしまうので、生徒がどこまで理解できたかはわからないところもあるが、興味や関心をもつきっかけにはなったと思われる。

「安倍内閣の方針（国外）」について

○生徒が取り上げた記事から（抜粋）

北朝鮮は沈黙（H18、9、29 毎日新聞）

安倍首相所信表明（H18、9、30信濃毎日新聞）

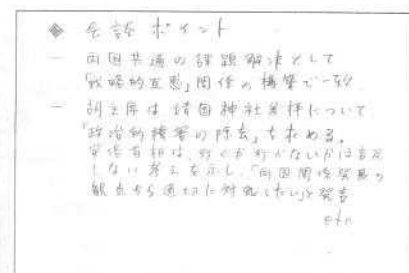
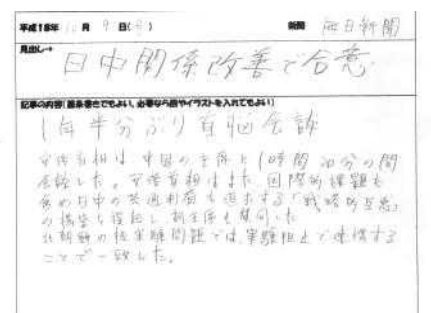
- ・北朝鮮に対する制裁決議、拉致問題、
- ・イラクへの支援
- ・靖国参拝をめぐる韓国との関係

日中関係改善で合意（H18、10、9毎日新聞）

- ・一年半ぶりの首脳会談

核実験阻止日中連携（H18、10、8読売新聞）

- ・北朝鮮の核実験実施表明を受け、日中首脳会談を1年半ぶりに開く。小泉首相の靖国参拝問題で悪化した日中関係を改善し、国連安保理の議長声明採択を受け、日中が連携し、北朝鮮に自制を求める方針で合意



N. Yくんの学習カード

○学習カードから・・・わかったことや感想・疑問点

- ・靖国問題で、日中関係はあまりよくないようだが、核問題はいいい方向に向かっている。戦略的互恵関係とは？。北朝鮮はどここの国と仲が良くて、どここの国と対立してるのか、まだ、よくわからない。ただ、大筋は分かったような気がする。(K, K)
- ・日本と中国は課題解決として、「戦略的互恵」関係で一致したことが分かった。「靖国」についての両国の関係は回復するのか？(N, Y)

- ・安倍さんは韓国や北朝鮮と、靖国の問題や核問題について慎重に話し合っていくつもり。(H. Y)
- ・北朝鮮は安倍氏を強く批判していること、安倍氏が拉致問題解決に積極的な姿勢を見せ始めていると思うのに、北朝鮮は批判ばかりしていて、話にならないなあと思った。(I. E)

○考察

国内と同様に、焦点がぼけてしまった感はあるが、国外についてまとめた班は、中国との関係や北朝鮮の関係を中心にまとめた。靖国問題では小泉前首相と安倍首相の考え方はどうなのかを調べたり、安倍内閣発足後に、北朝鮮の核実験があったので、この内容の記事を取り上げたりした生徒もいた。日本政府の考え方、6カ国協議に関わる国の考え方、国連安保理の考え方、そして、北朝鮮の考え方など多くの立場でどのように考えているかを明確にすると、より追究が深まったのではないかと思う。

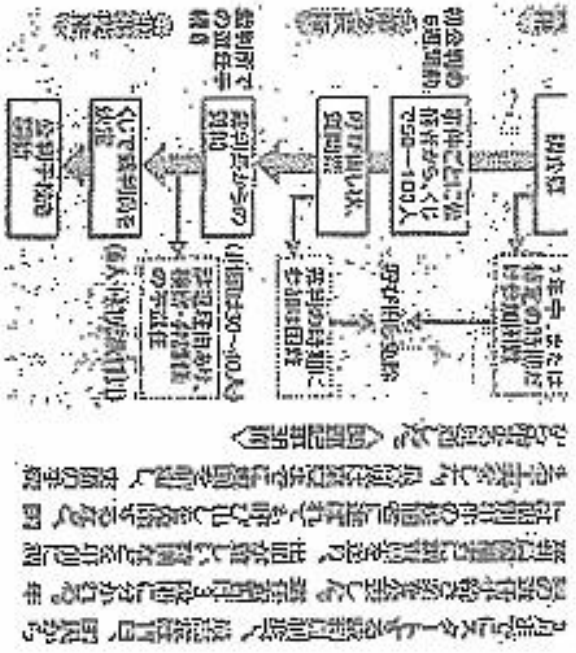
6 実践の感想と今後の課題

実証授業における成果や課題については以下の通りである。

- ・4つのテーマについて、個人で新聞を読み、記事の内容をまとめた。実証授業の前に、何回か新聞記事を取り上げていたこともあり、生徒の多くは自分の力で記事を読みこなそうとしていた。分からないところは率直に質問をする姿も見られた。難しい語句があるものの、個々の調査では記事を読み取ろうとして、前向きに取り組みまとめる姿が多く見られた。
 - ・新聞記事は多岐にわたり、テーマが大きすぎたため、若干記事を選ぶ段階やまとめるときに迷う生徒が見られたが、教師のアドバイスで記事の選定やまとめを行うことができた。
 - ・既習事項と新聞記事がどのように関わっているのか、つかめていない生徒多かったが、グループでまとめる段階や全体追究の場で教師が出て説明する中で、理解を深めた。
 - ・新聞を読みこなすことは、なかなか難しい面もあるが、自分の分かる範囲でまとめることによって、その内容の大枠は理解できたと思われる。また、普段見聞きしている政治に関するニュースについて自分なりの考えを持っていることが、カードや発言から読み取れた。
 - ・全体追究の場では、友達の調べたものを参考にしながら、自分のまとめを見直す姿も見られ、追究が深まったのではないかとと思われる。
 - ・取り上げた新聞と当初予定していた授業日がずれてしまったが、生徒の中には、ニュースに着目している生徒も多かったので、現状をふまえてまとめをする生徒も多く見られた。
-
- ・今年度、N I E実践校の指定の最終年度であった。二学期の9～12月の4ヶ月間、学校に新聞を届けていただき、図書館にコーナーを作って閲覧できるようにした。利用頻度が多いとは言えないが、特に3年生を中心に授業で届けられた新聞を読んだり、調べたり、まとめたりする授業を行った。今後はN I Eの閲覧コーナーはなくなるが、継続して文化委員会管理の新聞コーナーの利用を呼びかけたり、新聞を家庭でも読むような働きかけをするなど、授業以外の場でも、新聞に親しむための方向を探っていきたい。

新員候補 年37万人

選任手續も 08年12月から



「選任された候補者の数」は、選任された候補者の数に比べて、選任された候補者の数が少ない。これは、選任された候補者の数が少ないからである。また、選任された候補者の数は、選任された候補者の数に比べて、選任された候補者の数が少ない。これは、選任された候補者の数が少ないからである。

選任された候補者の数は、選任された候補者の数に比べて、選任された候補者の数が少ない。これは、選任された候補者の数が少ないからである。また、選任された候補者の数は、選任された候補者の数に比べて、選任された候補者の数が少ない。これは、選任された候補者の数が少ないからである。

3段階で絞り込み

選任された候補者の数は、選任された候補者の数に比べて、選任された候補者の数が少ない。これは、選任された候補者の数が少ないからである。また、選任された候補者の数は、選任された候補者の数に比べて、選任された候補者の数が少ない。これは、選任された候補者の数が少ないからである。

世は音を立てて、横文字やコンピューター化への歩みを速めている。高齢期の私は今でも必要感がないので、携帯電話、ファクス、パソコンなどの現代生活の利器は持っていない。

そんな高齢者に、またもや突きつけられているのは「地デジ」である。テレビのアナログ放送は、11年で終了し完全にデジタル放送に移行するので、現在見ているアナログテレビは、そのままでは見られなくなるというが本当だろうか。な

ぜ、今使っているテレビ廃棄し、デジタル化本化するのだろうか。重税による収入の減少が生活を直撃して在、何か納得いかな「もったいない」の水を差す感がする。には見えや外聞は必

唯一の楽しみにして齢者に余計な支出をいほしい。新聞とは、老人に開かれた文化に触れる窓なの

見出し→ 安倍新内閣が決定

記事の内容(箇条書きでもよい、必要なら図やイラストを入れてもよい)

総理: 安倍晋三	第1代首相	環境: 若林正俊
総務: 菅義偉	第2代首相に近い	官・拉致: 塩崎恭久
法務: 長勢甚遠		国家公務員: 溝手顕正
外務: 麻生太郎		防衛: 久間幸生
財務: 尾身幸次		東北地方少子: 高市早苗
文部科学: 伊吹文明	事業所長	金融・再林ジ: 山本有二
厚生労働: 柳沢伯夫	朝鮮半島から	経済財政: 大田弘子
農林水産: 松岡利勝		行洋・道州制: 佐藤一郎 → 渡辺喜美
経済産業: 甘利明		(首相補佐官: 小沢 元子)

平成18年 9月 9日(土)

新聞 信濃毎日新聞

見出し→ 自民党総裁選 告示
安倍、谷垣、麻生氏届け出

20日開票 経済・外交 重点に

記事の内容(箇条書きでもよい、必要なら図やイラストを入れてもよい)

- ・自民党総裁選は20日午前、告示され、安倍官房長官(51)(森派)、谷垣禎一財務相(61)(谷垣派)、麻生太郎外相(55)(河野派)の3氏が立候補を届け出た。
- ・今回の総裁選は小泉首相の総裁任期満了に伴うもの。
- ・世論調査で割前後の高い支持率を得ている。(安倍氏)
- ・ただ安倍氏が唱える政策は、「平易で分かりやすい」との評がある反面、政権構想の分量も、谷垣、麻生氏と比べて薄く、他候補陣営からは「数字が足りない、具体性を欠いている」との批判が出ている。
- ・谷垣氏は、東大卒、弁護士出身。「専門分野の最新の知見を取り入れなければならないなら、政治も機能不全に陥る」として、官僚の意見もふまえて、政策立案に当たる手法には官僚の批判も多かった。
- ・だが、逆に財務省の悲願である消費税率引き上げを明言したこともあり、官僚の「言いなり」との批判も根強く、ラッシュとなっている側面も否定できない。

3年 川 孝 氏 著 中島裕律

新聞記事から、自民党総裁の決定や安倍内閣総理大臣選出や考え方について調べてみよう。

このページの中から自分で選んだテーマを1つ決めよう。

1 自由民主党総裁選挙	
2 安倍内閣総理大臣選出	
3 安倍内閣総理大臣の政策や考え方に決まる考え方	

このテーマを選んだ理由と自分の感想を記入しよう。

とれたん かく

安倍内閣の方針(国政)

★ 選んだ記事の見出しと内容

平成18年 11月 9日(木)

新聞 毎日新聞

見出し

日中関係改善で合意

記事の内容(簡単に書きとめておき、おもしろいところを入れておけ)

1 両半分、対日関係改善

安倍首相は、中国の主席と1時間、20分の会談を行った。安倍首相は、国際的課題も、会談中の共通利益も追求する「戦略的互恵」の構築を重視し、胡主席も賛同した。

北朝鮮の核軍縮問題では、筆墨阻止で連携するこで一致した。

◆ 各記事のポイント

- 1 両国共通の課題解決として「戦略的互恵」関係の構築を一致。
- 2 胡主席は、中国神社参拝について、「政治的障壁の除去」を求める。
- 3 安倍首相は、胡主席の参拝に賛同する。
- 4 胡主席は、北朝鮮の核軍縮問題で、筆墨阻止を求めた。

おし

分かったこと

日本と中国は、課題解決として「戦略的互恵」関係を一歩進めたこと。

まだ分かったこと

「靖国」問題について、両国の対応は、互恵的であるか？